

トヨコ通信

2005年 4月号

ホームページ <http://www.sasada-toyoko.jp/>
e-mail sanbal@sasada-toyoko.jp

発行 : 日本共産党笹田トヨコ後援会
発行日 : 2005年 3月28日 第31号
連絡先 : 大垣市鳩部屋町41
日本共産党大垣市後援会
Tel 74-3449 Fax 73-8572

部内資料

新一年生にうれしいプレゼント

「少人数学級」一歩前進

岐阜県は平成17年度から小学校の新1年生のみに「35人学級」を実施することになりました。

更に、大垣市は30人以上のクラスに対して非常勤講師を1名加配することになり、今まで「30人学級」実現に向けてがんばってきた市民の皆さんの願いが一歩前進しました。

興文小では、平成16年度の1年生は78名で39人の学級でした。これが「35人学級」になると1クラスの人数が26人となり、子ども一人ひとりがよく見えて、ゆとりを持った教育が可能となります。



(3月議会委員会報告)

平成17年3月議会の委員会で審議された事項の中からお知らせします。

市民病院に関する委員会…看護系職員30人増員

①看護師などの職員数が年々減少し増員を求めています。この4月より看護職員が30人増員され692人になる予定。

②「ベッド利用率が96%で、一時期より少しゆとりができた。来年1月よりオーダーリングシステムが稼働すれば、空床利用がより効率的に行うことができる」と。(笹田:その為には病棟の職員体制の充実が必要)

③リハビリセンターの要求に対して、病院長「市民病院の目的は急性期医療なので、リハビリを必要とする人は、他のリハビリ病院にお願いする」と。

中心都市再生に関する委員会

…中心市街地活性化の決め手は?

プレミアム付商品券発行事業の効果について意見が集中。大垣市のプレミアム分負担率は年々下がってきて、今年は30%で予算額406万3千円。

中心市街地の活性化については後継者問題や建物の老朽化が課題であるが、空き店舗対策では新たに28店舗進出し他市と比べればがんばっている方との報告。ただ、郊外に大型店が進出し買い物客が分散しているなか、中心市街地に集客する何かを考えないと恒常的な賑わいは難しいのでは。

経済委員会…競輪事業は赤字

①ロックタウン大垣の新店について、パチンコ・ゲームセンターの中止を求めた意見書を再度提出。大規

模小売店舗立地法には、パチンコなどアミューズメント施設に対する規制はないが、付帯意見として県に提出したもの。経済委員会としても付帯意見を実行するよう決議をあげ、関係機関に働きかけることになった。

②競輪事業について、平成16年度は普通競輪4億円の赤字、全日本競輪5億7千万円の黒字で差し引き1億7千万円の利益となるが、一般会計への繰出し金3億円の捻出は16億円の繰り越し基金を取り崩すしかないことがわかった。委員会の中では様々な経営改善の意見が出されたが、そもそも公営ギャンブルに頼る市財政を改めることが大切で競輪事業の17年度予算案には反対。

厚生委員会…乳幼児等医療費無料化小学2年まで拡充

①「垣老」について、岐阜県が69歳の老人医療費無料化を廃止したため大垣市の負担が増え3億5680万円の予算化。

②乳幼児等医療費の無料化を小学校2年生までとし4億1520万円の予算化。

③介護保険事業について・・・居宅介護サービスは計画を上回る利用実態。特別養護老人ホームの申込者は700人で、実際の待機者数は350人程度か。今年介護保険計画の見直しの年で、第3次計画策定を外部委託し、介護保険改革推進本部を設置。

④サンビレッジ新生苑が中川地域にサテライト型特別養護老人ホームを建設

⑤和合保育園の民営化に関して、スケジュール案、応募資格法人選考委員会募集要領、選考委員会設置要綱が出される。

※上石津産業廃棄物の現地調査

3月21日、上石津町の産廃問題について市民の方から投書がありましたので、現地調査に行ってきました。上原地区にある民間の産業廃棄物最終処分場で、廃棄物がいっぱいになって閉じてから20年は経過しているとのことでした。廃棄物の埋め立ての下にはゴムシートが敷いてあるとのこと、10年前、廃水が処分場の土手からしみだし問題になりました。

その後、管理型処分場として、現在も廃水をチェックして処理しているようです。



処分場入り口 一見すると何も
ない草むらだが広がっていました。



入り口の横に「部外者の立入り禁止」の立て札がたっていました。部外者でしたがちょっと中に入れてもらい、草の生えているところまでいくと、直径30cmから50cmくらいの井戸が掘られていて、大きなポリバケツがくさぶさしてありました。井戸に廃水がたまると汲み出すようになっていました。このような井戸が他にも設置されていました。



20年前大型トラックで産業廃棄物を運びこんで、投棄する場所と思える石積みの場所や監視小屋がありました。



汚水がしみ出てきた土手はコンクリートで固めてありましたが、排水用の管が設置されていません。ゴムシートが破れて廃水が地下水や谷川の水と混じるのではないかと、いった心配や、現在もチェックしている廃水の内容がどのようなものかといった心配が残っています。管理しているメトラン興産に情報公開の手続きを依頼しましたが、



10年前の廃水処理のため
使用したと思われる太い管が
そのまま残されていました。



帰り道、不法投棄されている現場をみました。上石津町は道路が整備されているため大型トラックで廃棄物を持ち込むやすい状態とのこと、人目を避けて夜間に不法投棄をすることばかりで目撃されています。

市長選挙について

合併問題や治水問題など重要な争点がありながら、今回の市長選挙には、残念ながら候補者を擁立することができず、申し訳ない気持ちでいっぱいです。今後は2年後の市議会議員選挙で複数議席獲得のため頑張ります。今後とも日本共産党と笹田トヨ子へのご支援よろしくお願いたします。

日本共産党大垣市議会議員
笹田トヨ子

西濃民商集団申告決起集会で挨拶

3月11日 西濃民商の納税集団申告決起集会有り、雨の中390人が城西広場に集まりました。私は、ここで激励の挨拶を行いました。

不況の中、そして社会保障制度の改悪で保険料の値上げや給付の切り下げなど国民の生活破壊が起きている中で税金の申告です。政府は、徳山ダムなど大型公共事業のでたさんの税金の無駄使いをしてきました。

その結果、世界一の借金国になってしまい、今度は財政再建の名の下に、福祉・医療・年金といった社会保障へ

の予算を大幅に削減してきています。

一方、福祉や年金の財源として新たな増税、消費税の税率を引き上げや定率減税の中止など検討しています。

納税は、国民の3大義務のひとつですが、それだけに私たちは税金の出し方や税金の使われ方にもっと発言していくことが大切です。

